

グリーンファーム ってどんなところ?



鹿児島市の南部、喜入一倉町の標高約300mの高台に農業体験、調理体験、自然体験、環境学習を通じて、食と農への理解の促進や自然・環境についての感性を育む場として2012年11月15日(木)に開園します。

約41.3haの敷地は「体験学習ゾーン」「地域交流ゾーン」「民間参画ゾーン」で構成されています。

「体験学習ゾーン」は、“植える～育てる～収穫する～調理・加工する”といった農と食の一連の流れを体験できるエリアで、各種体験メニューを備えた体験用農地、循環型農業の仕組みを学べる環境学習棟、地域でとれた新鮮な農畜産物を提供する農産物直売所や農園レストランなどがあり、来園の皆様が「知る喜び」「新たな驚き」に出会える場所を演出しています。

「地域交流ゾーン」は、滞在型市民農園(年間契約)で週末等に滞在しながら農業を楽しんだり、体験用農地や交流体験館などで、様々な体験メニューやワークショップを通じて、地域住民と来園者、または来園者同士が交流するエリアとなっています。

「民間参画ゾーン」は公園内で実践する循環型農業の技術を活用して、民間事業者が安全・安心な農畜産物を生産するエリアです。



グリーンファームの仲間たち ようこそ、グリーンファームへ



農産物直売所「きいの杜」
運営組合長
中村 正人さん

喜入の新鮮な野菜をお届けします。

グリーンファーム周辺の生産者約70人が会員となり、農産物直売所「きいの杜」に農水産物を納入いたします。私どもが目指すものは来園して下さった皆様に一年を通して地域の新鮮な農水産物を提供できる体制をつくること、グリーンファームにまた来たいと思っただけの直売所になることです。それと同時に、いままでに培った農水産物のノウハウを活かし、農機具操作指導や植付けの手伝い、新しい体験プログラムづくりのワークショップなどにも参画して、ここを盛り上げていきたいと思ひます。

また私の夢は、グリーンファームをヒマワリやコスモス、レンゲ、菜の花といった四季を彩る花に囲まれた美しい公園にすることです。



約1000本の桜が咲き誇る園内



農園レストラン「だいたい」
店長
新村 義春さん

ぜひ、豊祭そばをご賞味ください。

店名「だいたい」の由来は、この地に代々伝わることをこの先代々伝えていきたい、また「橙」が正月飾りに使われるめでたい果実であることからきています。親会社は(株)寿福産業で、食品残渣の再利用や循環型農業にも興味を持って取り組んでいます。メニューとしては山菜鍋で楽しむ手打ちそばや、地元の方々に直伝して頂いたそばを再現した味噌味の豊祭そばなどがあります。また、テイクアウトもできる季節のくだものを使ったミックスジュースや豆乳ソフトクリームなども揃えています。

(営業時間:11:00~17:00、座席数:76席)



「豊祭そば」



有限会社
かごしま有機生産組合
吉原 陵平さん

その場で丸かじり出来る野菜づくり。

鹿児島市から借入れした1.26haの生産用農場で有機栽培農法(農薬・化学肥料・遺伝子組み換えの種子を使わない)による野菜の生産を行い、グリーンファーム内の農産物直売所や県内外の有機野菜取扱店への出荷を行います。また、農業体験プログラムが実施される体験用農地の栽培管理アドバイザーとして、作付け時期や品種の選定、肥料の配合などにも参画し、農業体験時には収穫した野菜が安心してその場で丸かじりできるような畑を作りたいと考えています。



ジャガイモ畑にて

喜入の 元気印 part-1

キレンタープロジェクト
実行委員会
小倉 りさ 会長(左)
樋高 悦子 副会長

去年11月の喜入マルシェで「喜入にはゆるキャラがない!」「商標シンボルがない!」などの声が上がりが、6人の戦士「喜ば士隊キレンター」が誕生しました。キャッチフレーズは「人は誰でも主人公になれる」で喜入を愛する約60人のプロジェクト

次のヒーローはあなたです!



メンバーがいて、「我こそは」と手を挙げれば誰でもヒーローになれる。グリーンファームのオープンイベント[11月17日(土)]には新コスチュームでステージに登場します。えう、ご期待!



アクションはちよっぴり苦手です

ボランティアスタッフを 募集しています。

グリーンファームでは各種体験やイベント運営などをサポートするボランティアスタッフを募集しております。ご希望される方はお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

グリーンファーム
(鹿児島市観光農業公園)
TEL:099-345-3337
FAX:099-345-2822
E-mail:kankonogyo@city.kagoshima.lg.jp